囈語

芥川龍之介

一

僕の胃袋（ゐぶくろ）は鯨（くぢら）です。コロムブスの見かけたと云ふ鯨です。時々潮（しほ）も吐きかねません。吼（ほ）える声を聞くのには飽き飽きしました。

二

僕の舌や口腔は時々熱の出る度に羊歯（しだ）類を一ぱいに生やすのです。

三

一体下痢（げり）をする度に大きい蘇鉄（そてつ）を思ひ出すのは僕一人（ひとり）に限つてゐるのかしら？

四

僕は腹鳴りを聞いてゐると、僕自身いつか鮫（さめ）の卵を産（う）み落してゐるやうに感じるのです。

五

僕は憂鬱になり出すと、僕の脳髄（なうずゐ）の襞（ひだ）ごとに虱（しらみ）がたかつてゐるやうな気がして来るのです。

（大正十五年五月）

底本：「筑摩全集類聚　芥川龍之介全集第四巻」筑摩書房
　　　１９７１（昭和46）年６月５日初版第１刷発行
　　　１９７９（昭和54）年４月10日初版第11刷発行
入力：土屋隆
校正：松永正敏
２００７年６月26日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんで

す。